

平成29年度みよし市児童育成計画審議会会議録

| | |
|-----|--|
| 日時 | 平成30年2月27日（火）午後1時30分から午後3時まで |
| 場所 | 市役所2階202会議室 |
| 出席者 | 【出席】小沢志江子会長、梅川小夜子委員、福留和美委員、橋本静治委員、吉田祐示委員、加藤 郁委員、横山真生委員、岡田 構委員、谷澤智子委員、矢吹裕美委員、松本美佐委員、正亀知子委員、松永 聡委員 【欠席】近藤浩美委員 |
| 事務局 | 近藤子育て健康部長、富田子育て支援課長、木戸副主幹、橋本副主幹 |

- 1 委嘱状交付
- 2 会長あいさつ
- 3 議題

- (1)みよし市児童育成計画の進捗状況について
- (2)今後のスケジュールについて

[事務局] 【議題1 みよし市児童育成計画の進捗状況について 説明】

[小沢会長]

何かご質問、ご意見はありますか。

[谷澤委員]

施設整備により定員を増やすというような説明がありましたが、その一方で保育士の確保が難しいという話しをよく聞きますが、そのあたりは大丈夫でしょうか。

[事務局]

保育士の確保については、毎年、大学の進路指導室に対し、本市の保育士の募集状況の説明とPRを行っています。また、保育士の労働環境は、午前7時から午後7時までの保育に対応するため早番遅番があることや休憩時間がとりにくい等、大変な仕事であることは事実ですが、少しでも労働環境を整え、今後も必要人員が確保できるように努めてまいります。

[谷澤委員]

幼稚園ではどうですか。

[橋本委員]

3年前くらいから採用が難しくなりつつあります。企業が実施する事業所内保育所や託児など働く場も多様化していることや、責任のあるクラス担任が敬遠されるなど、新卒者の考えも変わってきていることが影響しているようです。このため、幼稚園も働きやすい環境や待遇を整えることが必要となっています。

[松本委員]

子育て支援センターの会議でも意見として言わせていただいたのですが、高校生や大学生が職場体験又はボランティアとして保育現場に入ることを検討してみてはどうかと考えています。保育現場の手助けになるという点と、学生が現場を体験することで将来の先生の確保につながるという点でメリットがあると思います。

[橋本委員]

幼稚園では、大学生のインターンシップを夏休みに受け入れています。受け入れ側も将来の就職先として考えてもらいたいと考えていますが、そういう意識の高い子は多くの学生の中の一部だと思います。

[事務局]

公立の保育園も、中学生の職場体験や、大学生のインターンシップの受入れを行っています。特に、大学生は専門知識を勉強中のため、受け入れ側が助かることも多くあります。一方で、保育士資格のない職員を保育園に勤務させることも制度としては可能ですが、本市では、そこまで人材不足の状況にはなく、今のところは有資格者だけで必要人員が確保を進めていく計画です。

[小沢会長]

よろしかったですか。若い子の中には、ボランティア活動でもお金をもらうことが当然と考えている子も多くいるようで、私もびっくりした経験があります。

[谷澤委員]

有償ボランティアというのもありますからね。

[橋本委員]

インターンシップでは、責任のある仕事は任せられないので、やっている内容はボランティアに近いと思います。

[小沢会長]

以前、高校生向けに保育の研修を行ったことがありますが、高校生には、子どものことをかわいいと思ってもらえることが最初の一步だと思います。

他にご意見はございませんか。

[橋本委員]

親子通園ルームふたばが、明知保育園から市民活動センターに移転されましたが、階段が急だったり、幼児用のトイレが整備されていないので、環境が整っていないことを心配しています。

[事務局]

仮の実施場所として市民活動センターの会議室を使用していますが、移転の具体的な計画はまだありません。ご指摘のあったトイレについても改修工事は行っていないため、移動式の幼児用トイレを使用しています。

[加藤委員]

転入してきたため、みよし市の児童クラブのことについてあまり知らないのですが、特別支援学級に通っている子も放課後児童クラブに預けることは可能でしょうか。

[事務局]

通常、児童クラブは指導員4名で40人の児童をお預かりしていますが、発達障がいのお子さんを預かる場合は、指導員を加配して対応します。また、子育て支援課の臨床心理

士が児童クラブを訪問し、具体的な対応方法等について指導員にアドバイスをするなどして、継続的に支援をしています。原則として、小学校に通っているお子さんは児童クラブでもお預かりするということで対応しています。

[谷澤委員]

私は、児童クラブの指導員の経験がありますが、実際、発達障がいのお子さんは何人も児童クラブに通っています。指導員の加配がありますし、他の児童もその子のことを十分分かっているので、それほど心配されることはないと思います。

[小沢会長]

今のご意見に関しては、よろしかったですか。

他に、ご意見はございませんか。

[岡田委員]

養育支援訪問事業に関して、計画の中に、養育支援訪問が必要な世帯がないと記載されているが、どのように把握されたのですか。

[事務局]

計画作成のためのアンケート調査において、本事業が必要と見込まれる回答がなかったことによるものと思われます。

[岡田委員]

経済的なゆとりがない家庭も実際にあると聞いていますので、必要な世帯がないと言い切れることについて疑問を感じます。

[事務局]

表現が適切でなかったと思いますので、改善してまいります。

[松本委員]

色々な人から話を聞くと、地域において何らかの支援が必要な家庭がたくさんあるように思います。表には出てきませんが、こうした地域の情報も把握していただきたいと考えています。

[事務局]

行政に連絡をしていただくときは、匿名で取扱いますので、ご心配な点をご連絡していただきたいと思います。

[松永委員]

県の組織からみますと、みよしの子をどう守るかという視点で、みよし市は、非常に積極的に対応していただいていると感じています。

[吉田委員]

地域の方の声が子育て支援課を通じて学校への児童の見守りにつながることがあります。その中には、学校では気づいていなかったこともあり、地域のネットワークを大変ありがたく感じています。

[梅川委員]

民生委員は、児童のことに関しては学校に直接伝えるようにしています。民生委員が家庭を訪問することはあまりありませんが、学校や行政機関からの依頼で見守りを行うことはあります。

[小沢会長]

以前、保育の現場で、たまたま通りかかったおじいさんを指して、園児が「このおじいさんは、話している人？」と担任に聞いたことがあります。知らない人とは話をしないという教育をしているためですが、その場にいた担任の保育士は、どうしていいか分からなかったと言っていました。

このように、大変難しい時代になったと感じます。委員の皆さんも、それぞれの立場でいろいろご苦労があり、大変だとお察しいたします。

他に何かございますか。

無いようでしたら、(2) 今後のスケジュールについて説明をお願いします。

[事務局] 【議題2 今後のスケジュールについて 説明】

[小沢会長]

何か質問はございませんか。無ければ、これで議事を終了したいと思います。どうもありがとうございました。